

学年・教科：小学5年

国語

単元名：「グラフや表を用いて書こう」(SDGsの学習と国語科の交流学习)

時	活動	成果・子どもたちの様子	備考
1	SDGsの目標について興味・関心をもったテーマを選んで、現状を分析・考察し解決策や行動宣言などの意見をもつ。	① SDGsの17の目標について理解して、自分の興味・関心をもった課題を選んで調べることができた。 ② 課題に対する解決策や行動宣言などの意見をもつことができた。 ③ 説得力のある意見文を書くという見通しをもつことができた。 ④ 話型シートを活用して、グラフや表の読み取り方を理解できた。 <主体的な学び>	<ul style="list-style-type: none"> 保護者と連携・協力を得て夏休みの課題として、SDGsの調べ学習を開始した。 京都市公立小学校のSDGs学習後の作品や行動宣言を共有し活動の見通しをもつことができた。 専門家へのオンラインインタビューを通して、さらに課題に対する探究心を深めることができた。 調べた内容をSDGs学習探究レポートにまとめた。 教科書のグラフや表を、話型シートを活用して繰り返し6回読み取る学習を積んだ。
2	教師が作成した資料やモデルを分析する。 自分の考えを裏付ける資料を収集する。	① モデル文から、文章構成について分析することができた。 ② 事実と考えを書き分ける文末表現を理解できた。 ③ 資料の読み取りにおいて、グラフや表を説明するときのポイントを理解できた。 ④ 自分の意見を裏付ける効果的な資料を収集することができた。	<ul style="list-style-type: none"> 資料や情報収集の方法として、英語版もある国連やユネスコなどのSDGs学習サイトを紹介した。 教師が作成したモデル文を色分けして分析し、児童が文章を書く際のイメージがもてるようにした。 (自分の考えは赤色、その理由は青色、資料からわかることは緑色など)
3	集めた資料の情報を色分けしたカードにまとめ、構成や情報をワークシートに整理する。 グラフや表などの資料を用いて、意見文の下書きを書く。	① 集めた資料の情報を色分けしたカードにまとめて、ワークシートに整理することができた。 ② 資料を読み取り「分かること」から「考えられること」を書くことができた。 ③ 「資料と自分の考え」の繋がり(整合性)を確認することができた。 ④ グラフや表などを効果的に用いて、意見文の下書きを書くことができた。	<ul style="list-style-type: none"> 個児童は自身の活動の見通しをもち、個に応じた活動をした。 教師は児童の学習の進捗状況や悩んでいることを把握しておき、適切な声かけや支援を行った。 「情報整理シート」と「構成整理シート」を選択して活用した。 意見文の下書きをする際、モデル文と同じ色分けのラインを引いて、文章の順序や内容が的確かを確認した。

4	下書きを推敲し、資料と自分の意見文の整合性について話し合う。	<p>① 「文章構成・語型や文末表現」などを確認し下書きを見直し推敲することができた。</p> <p>② 「題名・漢字・語彙や句読点」などの文章表記を見直し推敲することができた。</p> <p>③ 「初めと終わりに意見を繰り返し書く」「意見の根拠を書く」など意見文の書き方や表現の工夫を見直し推敲することができた。</p> <p>④ 「資料の読み取り・資料と自分の考えや文章のつながり」など資料を効果的に用いた意見文となっているかを見直し推敲することができた。</p> <p><対話的な学び></p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 推敲で確かめる観点を共有するワークシートを使用した。 ・ 資料と自分や友達の考えの整合性を確かめた。 ・ 友達からの意見やアドバイスを活かして、下書きの文章を再検討し清書した。
5	意見文を友達と発表し合い、「説得力ある書き表し方」について振り返る。	<p>① 発表の視点や、聞く視点について 理解できた。</p> <p><u>3つの視点</u>をもって友達の発表を聞き、相互評価できた。</p> <p>内容面→友達の考え・意見 表現面→文末表現・思考を表す言葉・文章と資料のつながり 資料の効果→考えと資料のつながり</p> <p><u>2つの視点</u>をもって、説得力ある意見文が書けたか自己評価できた。</p> <p>情報の整理について 文章と資料のつながり整合性</p> <p>② 学習全体を振り返り、「グラフの効果的な使い方」や「説得力のある意見文の書き方の工夫」など学んだことを今後の学習や生活で活かす場面を考えることができた。</p> <p><深い学び></p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 導入では、パワーポイントで前時までの学習を振り返った。 ・ 円形に机配置して、ペアで5分×2人に発表し、聞き手は視点を持って聞き、感想を伝えた。 ・ 机の蓋に資料を貼り付けて、指示棒で文章や資料を指し示しながら発表した。 ・ 相互指名をして、学習全体を主体的に振り返った。 ・ 朝のスピーチで、全体に対する発表を継続した。 ・ この学習で身に付いた力をこれからの学習や生活に活かしていこうとする見通しをもてた。

<伸ばせた力、子どもの変化、保護者の反応など>

主体的な学び SDGsの目標から課題を自己決定し、見直しをもって自身の学びを調整する

SDGsの17の目標について調べ、自身の課題を選択、決定し、学習を主体的に積み上げてきた。指導の重点となる図表やグラフ等の統計資料の読み取りについては、情報「統計資料の読み方」で指導した上で、グラフや表の読み取りを積み重ねることで定着させた。また、「ルブリック評価」シートを活用して自己評価することで、全5時間の学習を客観的に振り返った。

対話的な学び 資料を効果的に活用できているか、資料と自分の意見の整合性を考える

友達との対話を通して、資料の分析や解釈に対しても客観視することができ、自分の意見と資料の整合性を確かめることができた。また、友達との意見交流や文章の推敲を通して、意見文を自己評価したり、相互評価したりして振り返り、今後「情報整理」や「資料の活用」「書く力」の学習に活かしていこうとする意識が高まった。

深い学び 「自分たちがつくる持続可能な世界」をテーマにした意見文や行動宣言を発表し合い、「説得力のある書き表し方」の工夫について振り返る自身の設定した課題についての探究

学習を通して意見文を書き、友達と発表し合い、「自分たちでつくる持続可能な世界」について考えを広げたり深めたりできた。また、「資料を効果的に活用する」「説得力ある意見文を書く」という視点から、意見文の書き表し方の工夫を振り返ることで、今後の生活や他教科の学習、現地校においても活かせるという見通しがもてた。さらに、課題解決における「行動宣言」を考え発信することで、今後世界の諸問題を自分の生活に結びつけて考え、課題解決に対して身近なところから行動できる自己実現力へと繋がった。

<所感>

本学級の児童の背景として、海外やロンドンで生まれ育った児童が多く、生活背景や生き方は多様な実態である。そこで、本単元「グラフや表を用いて書こう」においては、日本の社会問題だけではなくグローバルな視点に広げて、世界の諸問題について学習するSDGsと国語科の交流学习として発展的に取り扱うこととした。子ども達の探究学習には十分な時間を取るために、夏休みからSDGsノートを活用して、興味・関心のある目標から調べる学習を積んだ後、自身の課題を自己選択、自己決定していった。国語力に差のある子ども達の学習においては、保護者の理解と連携を大切に、学校での全体指導と家庭での個別学習を、内容に応じて分けて調整しながら進めていった。また、児童が主体的に学習を進めるために、英語版もあるウェブサイトや資料の紹介、ワークシートなどの教具を工夫するなど、指導者がスモールステップでの適切な指導、個に応じた支援に努めたことは有効であった。欠席児童にも毎時間の授業内容が共通理解できる様に、パワーポイントに視覚資料をまとめてGoogle Classroomで配信することで、発表本番までに全児童が質の高い意見文を完成することが実現できた。最終的に、SDGsの目標「持続可能な世界をつくる」という大きなテーマについての発表においては、「聞き手は「内容面・表現面・資料の効果」などの視点を持って聞き、友達の意見文の説得力や資料の効果に目を向け、また世界に対する見方を広げたり、理解を深めたりすることができた。単元全体を通して、重点課題であった「①論理的思考力 ②情報を関係付け整理する力 ③コミュニケーション・発信力」においても国語力も伸ばすことができ、意見文を世界へ発信できた体験は、子ども達の自信と成功体験に繋がった。さらに、偶然にも同じ単元でSDGsに置き換えて学習していた、全日制的ロンドン日本人学校5年B組児童とも、プレゼンテーション資料や意見文を交流する学習にまで発展した。このように、グローバル人材の育成を目的とする在外教育機関においてSDGs学習を国語教育に活かすことは、子ども達が世界の諸問題に目を向け、予測不可能な未来を切り開いていく為に必要な思考力や課題解決力をも伸ばせるという点でも有意義だといえる。本単元で身につけた統計資料を用いたプレゼンテーション能力は、子ども達が将来生きるグローバル化社会の様々な場面において必要とされるだろう。今後さらに子ども達が、日本語のみならず多言語においても説得力をもって自身の考えを発信するときに、この学習が有効活用されることに期待したい。